

DX推進企画書

Digital Transformation Promotion Plan

作成：2022年12月1日

改定：2024年4月22日



ミツミ産業株式会社

目次

1. DX化の会社方針

会社方針について

2. 現状の課題

DX化に取り組むための現状の課題

3. DX化推進計画

短期計画／中期計画／長期計画の立案

4. DX化推進体制

DX化を推進するための組織体制

5. DX化に対する取り組み

DX化の取り組み状況

6. DX化に対する戦略

DX化に対する戦略的なIT投資

7. セキュリティ対策

セキュリティ対策の強化

8. IT人材育成

IT人材の育成計画

9. 今後のビジョン

DX推進に向けての経営ビジョン



1. DX化の会社方針

1919年創業以来、歴代社長たちが社訓の「誠実・努力・明朗」を旗印に、卓越した経営センスと時代に応じた経営戦略、先輩・現役社員らの弛まぬ努力により、当社は一世紀の歴史を刻むことができました。

しかし昨今デジタル技術が大きく進歩したことにより、環境の変化に対して柔軟に対応することが会社を成長させる上で必要不可欠であると感じております。

今後継続的に会社を成長させるためにデジタル技術への投資を行い、溶接業界のリーディングカンパニーとなるようデジタル技術の活用、ステークホルダーとの関係性強化を行い、ガバナンスの強化に努めて参ります。

またDX化推進体制を発足して短期計画から長期計画を策定して円滑に進められるように取り組んで参ります。



2. 現状の課題

マツモト産業株式会社では、他社と差別化を図るために多くのカスタマイズ機能を実装して自社の運用に適したシステムを構築しました。

その結果、既存システムが複雑化され一部機能のブラックボックス化が発生しており、業務効率の悪化を招いております。

また業務面においてもITシステム・技術が生かせていないこともあり、仕事の効率化が図れておりません。

上記課題を念頭におき、ITシステム・最新の技術を活用して企業競争力を高める必要があると認識しています。



3. DX化推進計画

短期計画 (2024年～2026年)

- ・レガシーシステムの脱却を図るために、拡張性、柔軟性を重視したERPパッケージの再構築を行い、システム全体の最適化を図る
- ・WMSを導入し、ERPパッケージとデータ連携を行い、サプライチェーンに関する経営資源の配置とコストの最適化を図る
- ・請求書の電子化及び、ペーパーレス化を行い、情報のデジタル化、業務の効率化、経費削減を図る

中期計画 (2027年～2029年)

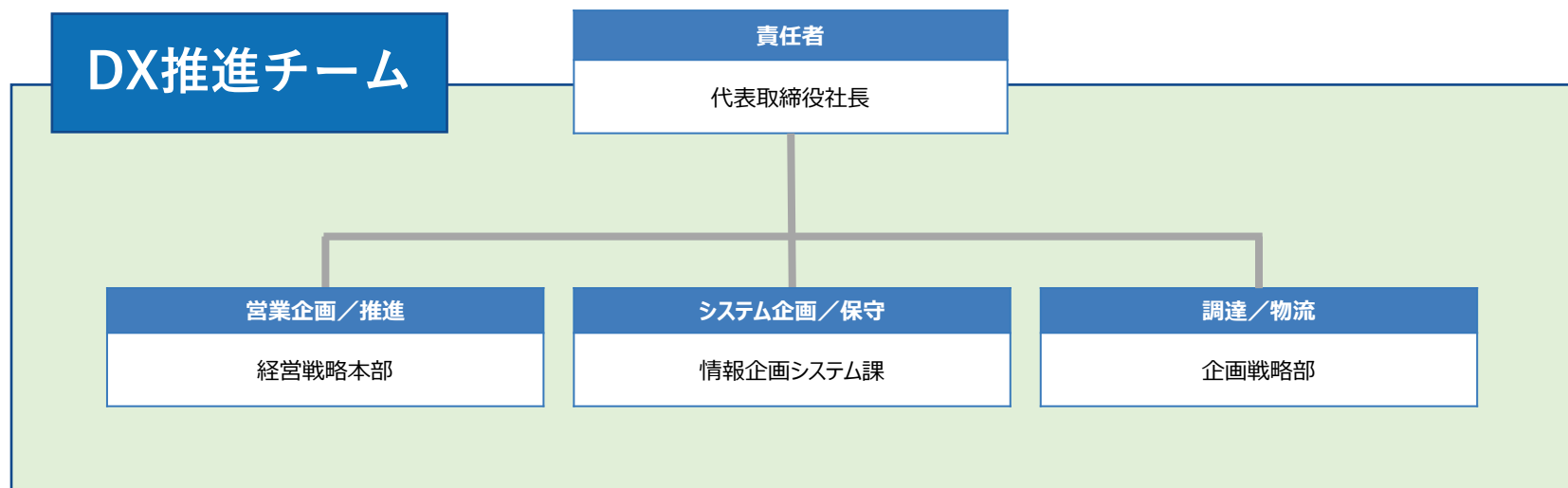
- ・ECサイトを導入し、ERPパッケージ、WMSとの連携を行い、ビックデータを共通のデータベースにて一元管理する。一元管理したデータをBIツールにて分析を行い、市場環境に迅速に対応することで企業競争力の強化を図る
- ・物流倉庫にマテハン機器の導入を行い、倉庫業務の省人化を図る
- ・DX人材の育成を行うために座学によるスキルセット・マインド習得、OJTによる実践的なスキルが身につくように育成スケジュールの計画を策定する

長期計画 (2030年～2032年)

- ・先端技術（AI等）を駆使して溶接業界により良いサービスを提供できる企業になる



4. DX化推進体制



- ・ 代表取締役社長をDX推進チームの責任者として
3つの部署間の連携強化を行い、1つの組織としてDX化に取り組んでいます。
- ・ 全社員のITリテラシーの底上げを行うために、ICT環境の整備、社外研修の受講を行い、
ITリテラシーの向上を推進します。



5. DX化に対する取り組み

【主な取り組み内容】

各種
デジタル化

- ・ 紙運用からデータ運用に変更
- ・ 物流業務を手作業からモバイル化
- ・ システムをオンプレミス型からクラウド型に変更

業務プロセス
の見直し

- ・ 受注業務の全国センター化
- ・ 組織変更に伴う指示系統の強化
- ・ 各組織間の連携強化

関連会社との
連携強化

- ・ 競争力の強化
- ・ 経営方針の策定
- ・ 事業間のシナジー創出

会社の基盤強化及び、
ビジネスモデルの変革



6. DX化に対する戦略

・データとデジタル技術の活用

データを活用して市場変化や消費者の動向などの分析を行い、ビジネスの競争力を強化する。

・ビジネス環境の変化にスピーディーに対応

最新のデジタル技術を取り入れて、環境の変化に対して柔軟に対応できるシステムを構築する。

・ステークホルダーとの関係性強化

目標に向けてのプロセス共有を行い、役割分担等を明確化する。また対話の重要性を理解して社内外に向けて戦略を発信する。

デジタル技術を応用し、ガバナンスの強化を実施

<短期指標>

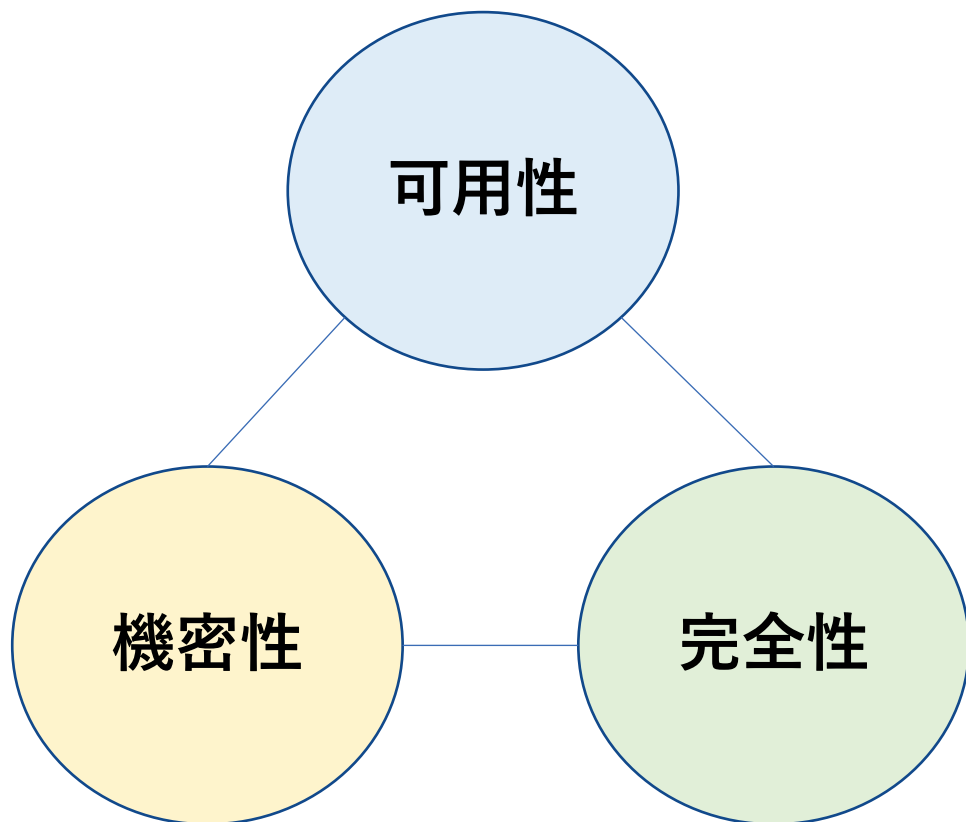
2025年度内に新ERPパッケージ及び、新BIを活用し、前年度と比較して売上の10%増加を目指す。

<中期指標>

2028年までにECサイトの導入を行い、ECサイト導入前と比較して売上15%増加、経費10%の削減を目指す。



7. セキュリティ対策



・ 可用性

- ・ ADサーバーによるアクセス権限の制限
- ・ WFシステムによる社内承認の厳格化

・ 機密性

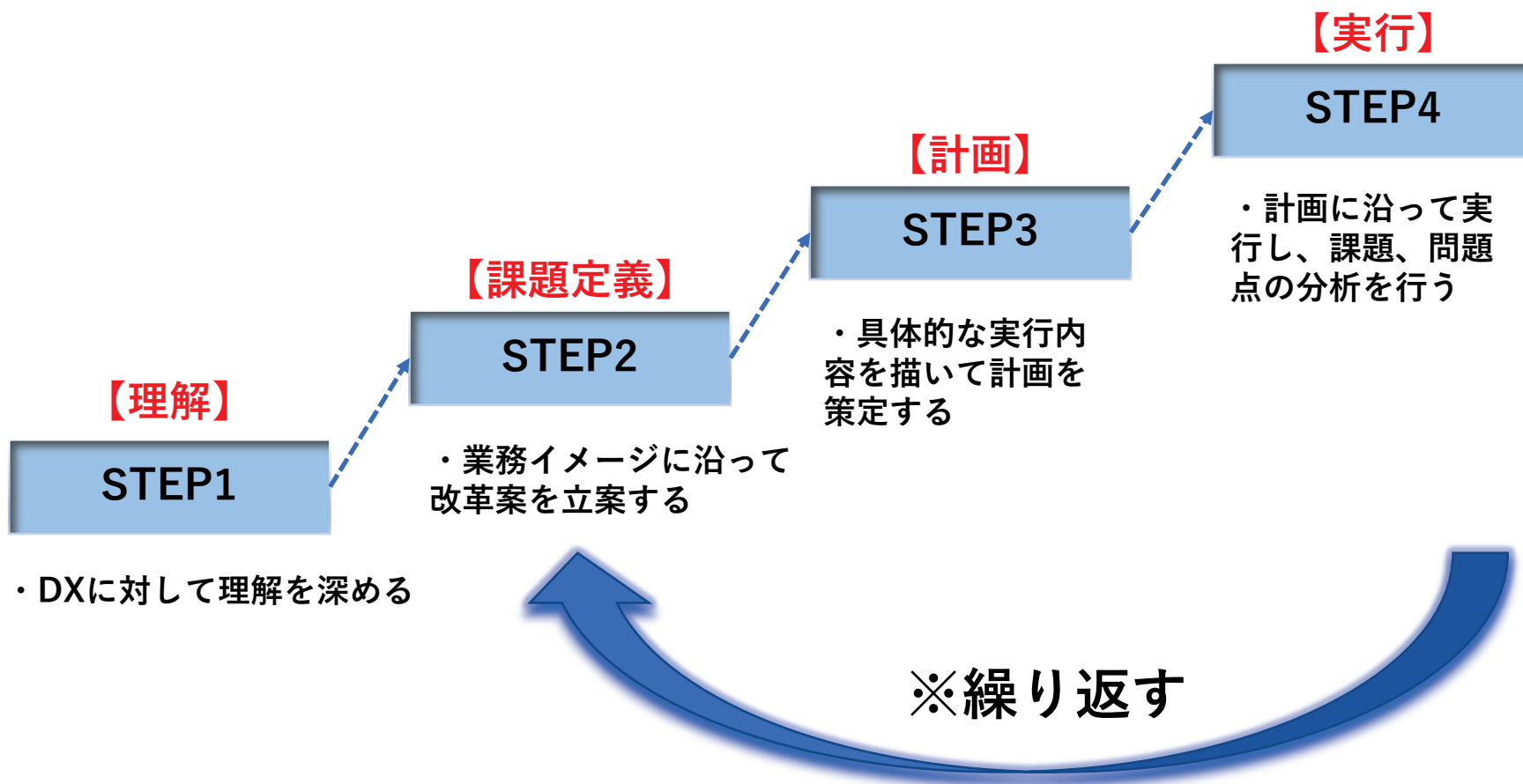
- ・ 社内VPNの構築による外部接続の制限
- ・ 資産管理ツールによる情報漏洩対策
- ・ 最新のセキュリティソフトを使用

・ 完全性

- ・ 資産管理ツールによるOSバージョン管理
- ・ クラウドの冗長化構成



8. IT人材育成



9. 今後のビジョン

信頼のブランド”MAC”

MACはマツモト産業の企業理念を商標にしたものです。



Mutual 相互の・共同の

Assistance 援助・助力

Cooperation 協力

溶接業界に精通したメーカー商社として企業と密に関係を築きあげていき、得られた貴重な情報・技術を提供して人々の日々を豊かにすることを宣言致します。

この商標には、製品を造る人、売る人、買う人が一体となって時代の要求に応じて行きたいとする願いが込められています。



マツモト産業株式会社